

薬害タミフル脳症被害者の会

代表 軒端 晴彦

私たち被害者会はタミフル服用後、異常行動及び異常行動死・睡眠中の突然死・発達障害の子を持つ親の家族です。

昨年より会では、私たちのような悲しい親を出さないようにと、厚生労働省に対して要望していましたが、今年も愛知県と仙台市でタミフル服用後悲しい事故が起きました。タミフル以外に原因は考えられないと思っておりますので、まずそのことを強く訴えたいと存じます。

愛知県会員秦野さん、当時中学生の14歳の男子のことをまずご紹介します。39度の熱が出た後、自力で37.5℃に解熱しましたが、タミフルを服用した約2時間後にマンション9階から転落死しました。

この子の症状が、いわゆる「熱せん妄」と違うことは明らかです。すでに自力で37.5℃に解熱し、タミフル服用後2時間頃に異常行動を起こしているからです。それに、タミフルしか服用していないので、他の薬剤は原因にはなりえません。タミフルが原因としか考えられないのです。インフルエンザの上にタミフルが加わって起したとしか考えられません。

厚生労働省は昨年1月、「意識レベル低下」で死亡としていたとされていましたが、副作用被害救済制度での判定では「状況不明」となり、副作用と認定されませんでした。このことも普通の頭ではまったく考えられない、不思議なことです。この子の場合、マンションの外付け階段の手すりを外から握った指紋が残っていたそうです。外側から握ってその後転落したと考えられますから、まさしく、異常な行動ではないのでしょうか。これがなぜ不明とされるのでしょうか。

また、厚生労働省は昨年1月、この子について「意識レベル低下」で死亡としていたとされていましたが、副作用被害救済制度での判定では「状況不明」となり、副作用と認定されませんでした。このことも常識では全く考えられない不思議なことです。この子の場合、マンションの外付け階段の手すりを外側から握った跡が指紋で確認されています。外側から握ってその後転落したと考えられますから、まさしく異常な行動ではないのでしょうか。これがなぜ不明とされるのでしょうか。

私の息子は、タミフル服用後3時間余りの間に家を飛び出し、雪の上を裸足で走って線路を横切り、国道を横切ろうとして、たまたま走って来た大型トラックにはねられて死亡しました。昨年1月の厚生労働省の発表では「異常行動による死亡」となっていますが、副作用被害救済制度の判定ではアマンタジ

ンをその前に服用していたため、アマンタジンによる自殺とされました。又、タミフルの副作用の死亡の第1号にも記載されています。事故が起きたのは、アマンタジン服用からは9時間後です。そして、タミフル服用後3時間余りです。服用後3～4時間というのはFDAの調査でも一番起こりやすい時間帯ではないのでしょうか。どうしてアマンタジンだけが原因で、タミフルとの関連が完全に否定できるのでしょうか。

ところで、原因というものは、一つがあれば他に原因はありえないというものなのでしょうか。原因は一つよりも、重なればより起こりやすくなるのが普通ではないのでしょうか。つまり、インフルエンザそのものや他の薬剤の影響によってせん妄が生じうるとすれば、その上にタミフルを服用すれば、せん妄や異常行動をより起し易くなると考えてはいけないのでしょうか。

異常行動や呼吸困難、意識の消失を目の当たりにした親は異口同音に「我が子の顔をしていなかった」と言います。

京都市の新井さん中学3年生の息子さんは、夜に2個目のタミフルを服用後目覚めたあと、大きな声を出し、呼吸困難と興奮状態になりました。わが子を親が二人で押さえ込み、ようやく治まったかと思うと、急に白目をむいて顔面蒼白になり呼吸をしていないか何度も見る必要があったそうです。その時の興奮状態は、まるでテレビで見る覚せい剤の幻覚症状に似ていたといわれます。救急車で病院へ搬送され、入院しましたが、入院後も2回目の異常行動と意識消失、白目をむいてけいれんを起したそうです。

この子は幸い何の後遺症もなく回復しましたが、親がいなかったら飛び降りないし異常行動で私の息子のようにトラックに引かれていたかも知れません。あるいはそのまま呼吸が止まって死亡していたかもしれせん。

異常行動も重大ですが、睡眠中の突然死や急な心肺停止はさらに重大なタミフルと副作用と考えます。会員の中でも、また、厚生労働省が公表された副作用報告の中でも多数います。それに、心肺停止で死亡を免れても、その後発達障害などの後遺症を残した会員もいます。

生後10カ月まではすくすくと何の異常もなく育っていた女の子は、タミフルを服用後、1時間足らずで意識がなくなり、この世のものとは思えないような形相をして意識がなくなりました。かろうじて一命をとどめたものの、その後、今までできていたハイハイや、つかまり立ちができなくなり、5歳になった今も発達が障害され、自分の身の回りのこともできない状態です。

タミフル服用までは元気にしていたのに夕食の準備中コタツでビデオを見ていた後気付くと呼吸がとまっていた3歳の男の子、寝返りを打ったなどと思って

その10分後に触ったらもうグニャグニャで息をしていなかった2歳の男の子は、アッと言う間にかげがいのない幼い命を奪われてしまいました。

夜10時に寝て翌朝死亡しているのが発見された一家の大黒柱であった39歳の息子さんを亡くされ、老夫婦で理髪店を本当に細々と、続けておられる方もいます。それまで何の障害もなく元気であった子、元気であった成人が、すべてタミフル服用後に死亡したり、後遺症が起きているのです。

厚生労働省の作業部会は今年4日、異常行動や突然死とタミフル服用の関係を解明するための調査・試験項目をまとめた。としていますがこの項目に発達障害の症例も含め調べて頂きたいと思います。(なぜ0歳児が服用禁止になったかを踏まえて)

また、20代前半の健康な男性十数人にタミフルと偽薬を飲んでもらい、睡眠時の脳波などを調べるよう輸入販売元の中外製薬に指示した。 としています。これは無意味な調査だと思えます。素人でも結果がわかっている調査と思えます。

今後安全対策部会安全対策調査会の議論と調査の結果が、タミフルが原因と判断され、今後私たちのような親を出さない事を強く望みます。

以上

